

【主な対象専門科】

心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺外科、小児外科、小児心臓血管外科

【研修目標】

1. 一般目標

- (1) 外科医としての総合的な知識・診療手技を習得する。
- (2) 外科医として、専門分野を習得することにより医学の進歩に貢献する。

2. 行動目標

- (1) 外科の代表的疾患を理解し、これを経験する。
- (2) 適切な病歴聴取・診察・臨床検査等より適切な診断を行い、患者の状態に応じた治療計画を立て実行できる。
- (3) 高度専門医療を必要とする疾患であるかどうかを判断し、指導医に適切に相談することができる。
- (4) 高度専門医療を必要とする疾患の診療に参加し、外科専門医としての診療能力の向上を図る。
- (5) 初期臨床研修医および後輩の外科レジデントを指導できる。
- (6) 必要に応じて他の医師やコメディカルスタッフ、他の医療機関と連携して診療できる。
- (7) 常に自己研修に努め、種々の医療・医学情報を取り入れ新しい知識の吸収に努める。
- (8) 臨床研究に携わり、その成果（症例報告を含む）を発表できる（学会、研究会、論文）。

【方略】

各外科系専門科研修カリキュラムを参照のこと。

【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導者から評価を受ける。

【研修プログラム】

- ・ 1年次（卒後3年目）は、ローテート（必修）期間とする。原則として消化器外科・肝胆膵外科・乳腺外科3ヶ月、心臓血管外科2ヶ月、呼吸器外科2ヶ月、小児外科1ヶ月を研修する。残りの期間については、原則として救命救急部（ECU）、集中治療部（ICU）、十三市民病院外科から2ヶ月ずつ2科選択して研修する。なお、ローテート診療科、期間及び時期については、本人の希望を基に、教育研修センターが調整し決定する。
- ・ 2年次（卒後4年目）は、原則として、進路希望の科で研修を行う。外科専門医取得に必要な症例数が不足している場合は、該当専門外科のローテートを行う。
- ・ 3年次（卒後5年目）は、進路希望の科で研修を行う。

1年目（卒後3年目）	2年目（卒後4年目）	3年目（卒後5年目）
外科系専門科をローテート	外科系専門科をひとつ選択 ※症例数不足の場合ローテート	外科系専門科をひとつ選択

※2年次（卒後4年目）、3年次（卒後5年目）で採用した場合は、採用時までの経験症例数の提出を求めたうえで、現行の認定内科医取得に十分な経験を有する場合は進路希望科における研修とする。

【見学等問い合わせ先】

教育研修センター部長 川崎 靖子